

四国の
「地域循環共生圏」を
創造する！

ローカルSDGs四国（LS四国）概要



四国の自然資本、豊かな自然環境を保全しながら、地域循環で活性化する四国の未来を創造することをイメージして、生物多様性折り紙を使った四国地図を使っています。



令和4年2月12日時点
ローカルSDGs四国事務局

環境・社会・経済の統合的向上が不可欠



(株)インターリスク総研より資料提供

SDGs "wedding cake" illustration presented by Johan Rockström and Pavan Sukhdev

社会活動と経済活動は、自然資本を基盤に成り立っているもの

SDGsは環境・社会・経済に統合的に対応することを求めている。

→ **Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development**

ローカルSDGs「地域循環共生圏」とは

■ ローカルSDGs「地域循環共生圏」とは、各地域が地域資源（自然資源・経済資源・人的資源等）を再認識し、それを持続可能な形で最大限活用するとともに、近隣地域と資源を補完し合いながら、環境・経済・社会の統合的向上を目指す、という地域づくりの考え方。

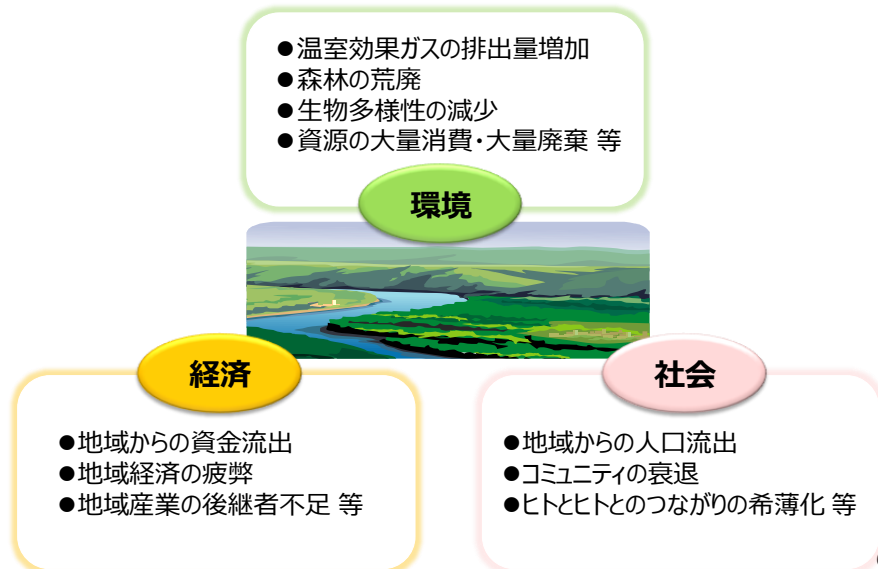
（例）木質バイオマスによるエネルギー供給事業

- CO2排出削減に加えて、これまで化石燃料を買うために地域の外に流出していたお金が地域に落ちることになる。また、木質資源を供給するため、これまで十分に実施されてこなかった森林の間伐が行われるようになれば、鳥獣被害や水害等を防ぎ、地域を守ることにつながる。

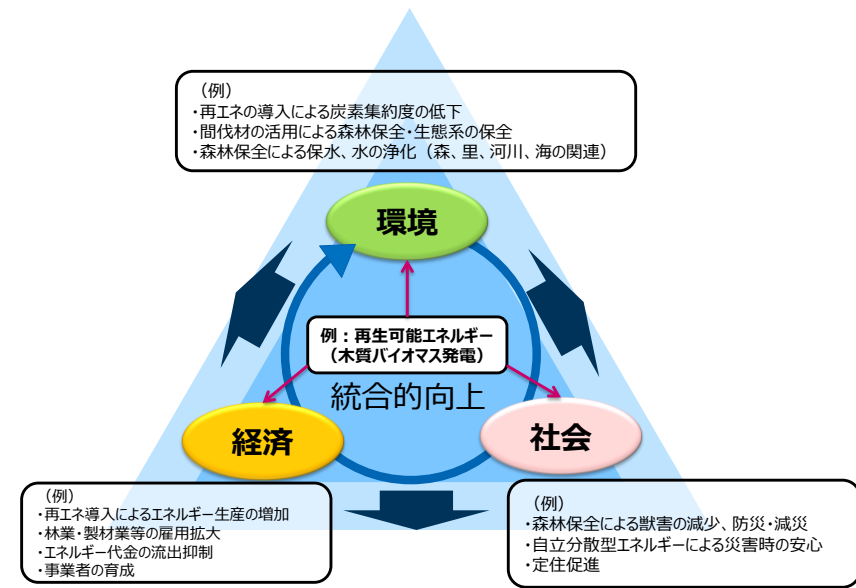
■ ローカルSDGs「地域循環共生圏」ビジネスとは、以下3つの要素を満たしているものと定義しています。

- ①地域資源を活用し、地域内または地域間で補完し支え合いの関係が構築できている
- ②地域内で資源（ヒト・モノ・カネ・コト）が循環している（地域外からの流入を含む）
- ③環境を含む地域の課題解決につながる

日本の地域を取り巻く課題



地域循環共生圏形成による「環境・経済・社会の統合的向上」のイメージ



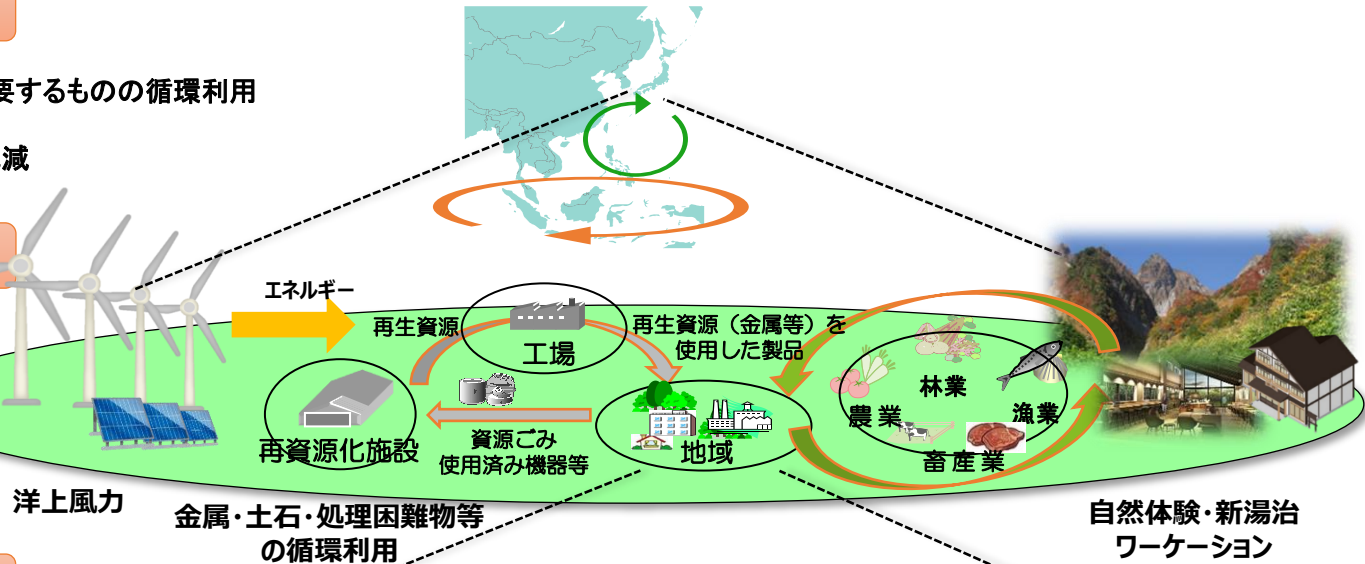
重層的に圏域で構成されるローカルSDGs（地域循環共生圏）

国際

- ・レアメタル等、高度なリサイクル技術を要するものの循環利用
- ・インバウンド観光の交流
- ・バリューチェーンを通じた環境負荷の低減

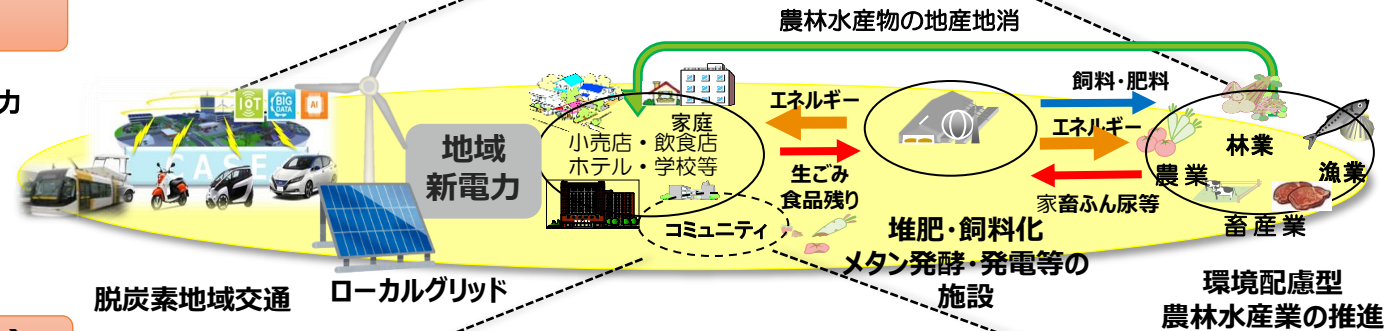
ブロック内・国内

- ・再生可能のエネルギーの地域間融通
- ・金属・土石・処理困難物等の循環利用
- ・都市と地域の交流
- ・生きがい・働きがいのための交流
- ・農林水産物の国内消費



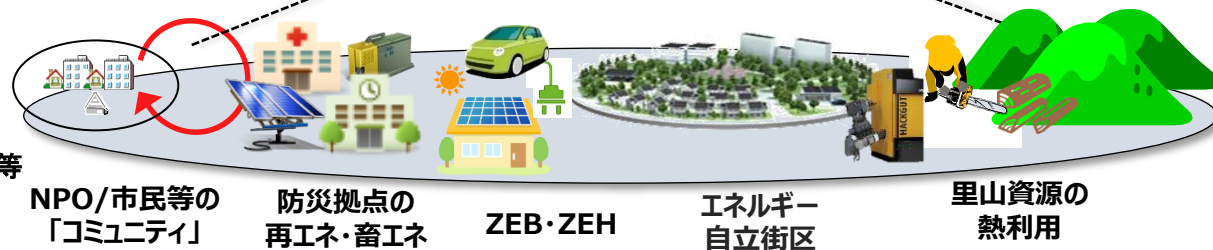
地域（市町村・流域）

- ・エネルギーの地産地消・地域新電力
- ・脱炭素地域交通
- ・バイオマス資源のエネルギー利用
- ・環境保全型農業
- ・農林水産物の地産地消



コミュニティ（集落・学区）

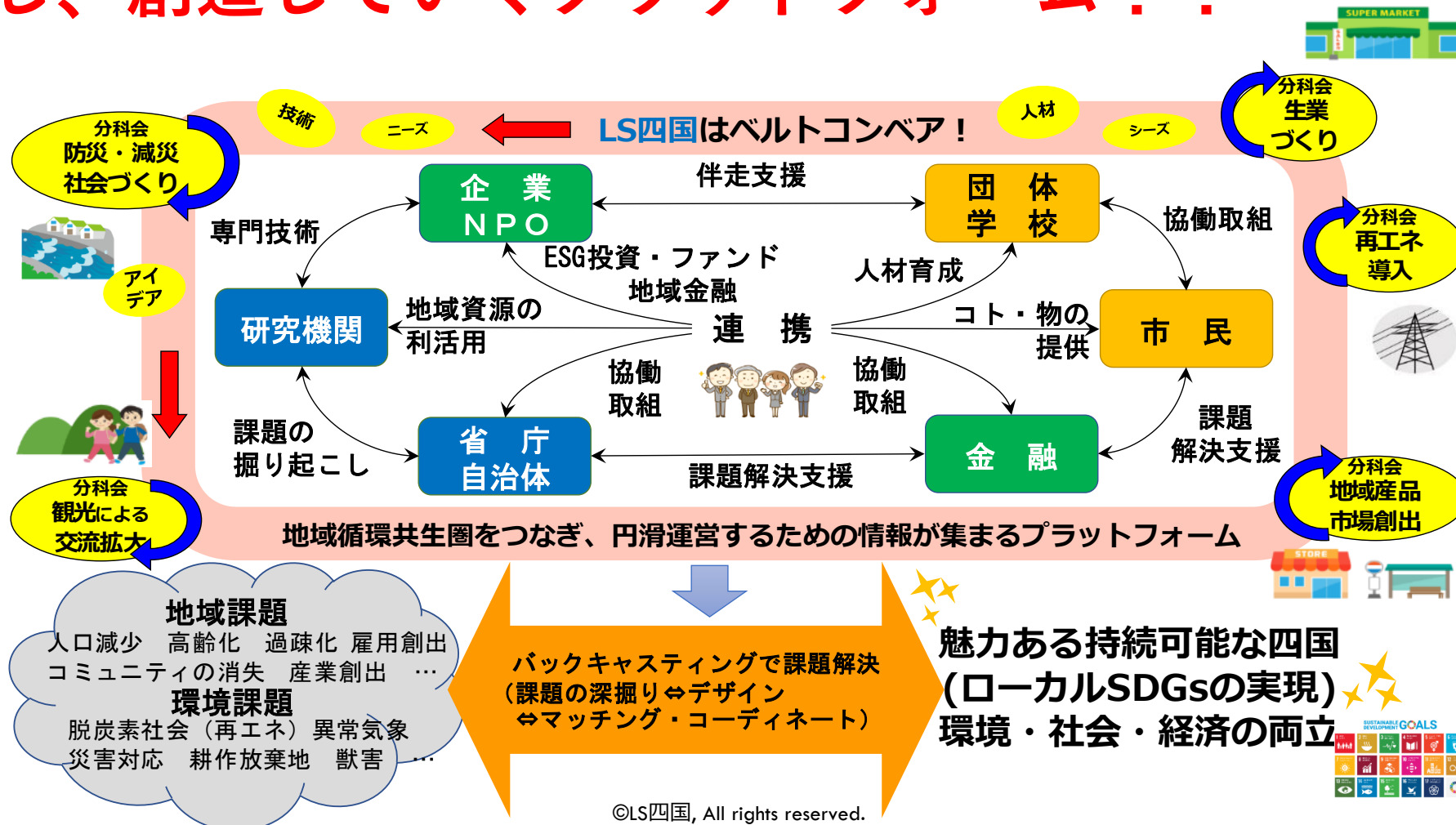
- ・自営線によりエネルギー自立街区
- ・ZEB・ZEH
- ・防災拠点の再エネ・畜エネ
- ・生活圏におけるリユース・リペア・リサイクル等
- ・廃食用油のバイオ燃料利用
- ・里山の木質バイオマスの熱利用 など



ローカルSDGs（LS四国）とは

ひと言で言うと、

四国でローカルSDGs（地域循環共生圏）に資する取組を生み出し、創造していくプラットフォーム！！



LS四国設立の背景

背景

四国は、急速に進行する人口減少や高齢化、大規模自然災害の発生などにより、地域の存続に関わる難題に直面しており、次世代に伝えたい地域資源や固有価値、私たちの日々の暮らしや産業活動にまでも影響を与えている。

このような四国の地域課題を解決し、地方創生の成果を確かなものとし、持続可能な地域づくりを進めていくためには、「**地域循環共生圏 = ローカルSDGs**」の達成に向けた取組を積極的に推進することが重要であると考え、この度、この取組を推進するプラットフォームとして

「ローカルSDGs四国（略称：LS四国）」を立ち上げることにした。（令和3年2月17日設立）



ビジョン

いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

自然資源の恵み・つながりを活かし、伝え、地域・社会がそれぞれの特性を発揮しながら、連携して支え合いSDGsの目指す環境・社会・経済の調和を図りながら持続発展する活力あふれる四国地域の創造

行動指針

ビジョンを達成するためにローカルSDGs（地域循環共生圏）の考え方を尊重し行動します。

- 1) ローカルSDGsの考え方を実践する場づくりを進めます。
- 2) ローカルSDGsの視点をもった創り手の発掘、育成を進めます。
※科学的根拠に基づいた調査研究、知見を活用
- 3) イノベーションの導入やESGの視点を取り入れたビジネスの創出及び地域経済循環の向上を目指します。
- 4) 自然と人が共生する循環型社会を構築し、脱炭素化へのパラダイムシフトを進めます。

LS四国 機能・構成



LS四国は、趣旨に賛同する団体及び個人の会員で構成する。当面の間、会員の会費は無料とする

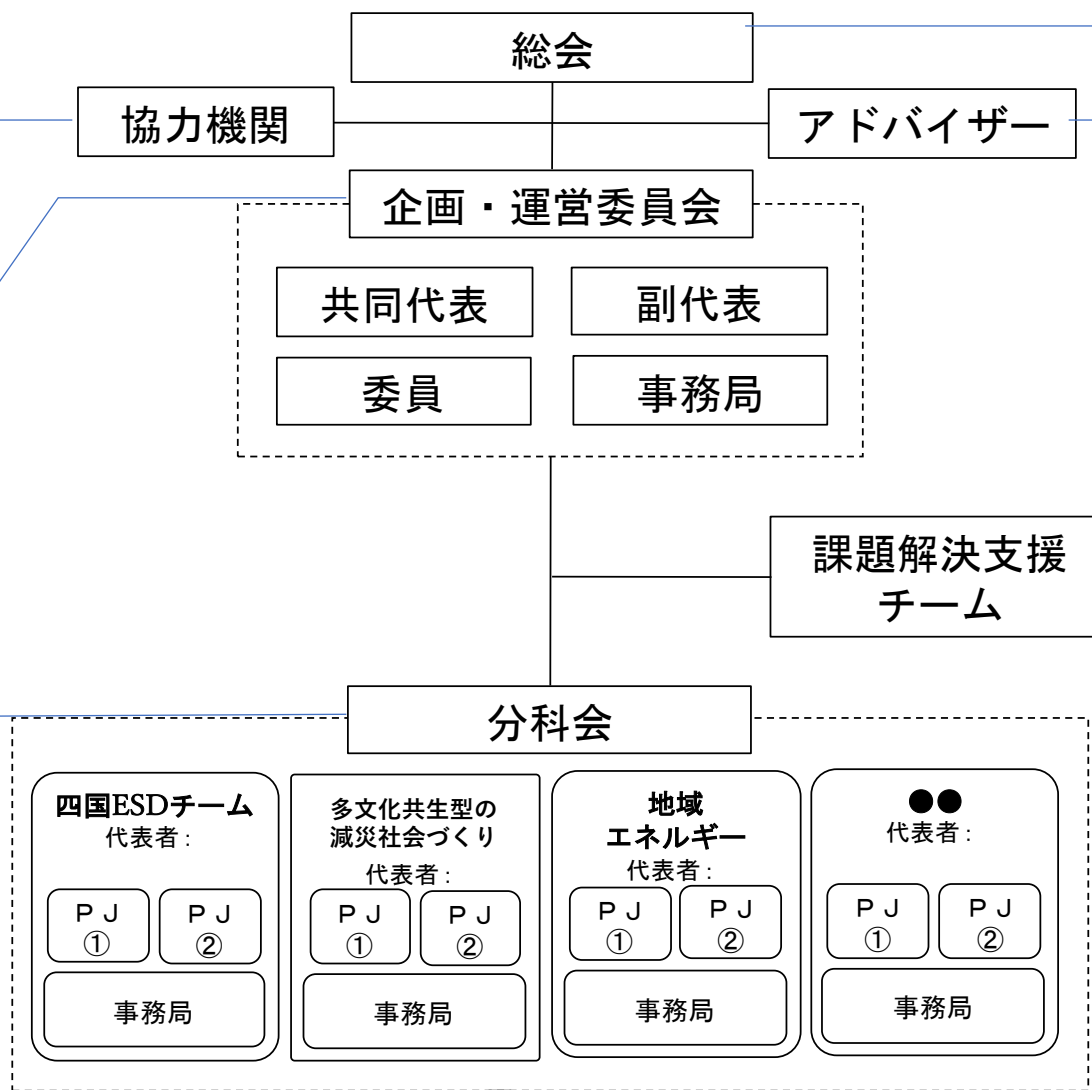
組織図

LS四国に連携・協働し、有益な助言、協力及び支援を行う団体、機関。

活動計画の策定、会員・分科会関係などの審議、フォーラム等の企画立案などを行う。

※分科会から適宜出席

ローカルSDGsの実行役。自立型でテーマに沿った様々なプロジェクトを実施する。



LS四国の方針の決定などを行う。

LS四国に有益な助言を行う個人。

企画・運営委員会に連携・協働し、課題解決に向けた課題深掘り・マッチング及びESG推進、並びに助成及び投融資等の支援を行う。

企画・運営委員会 の運営体制

共同代表

近森 憲助 (鳴門教育大学名誉教授 高知学園大学学長)
上田 健二 (環境省中国四国地方環境事務所長) (臨時代理)

副代表

島田 治男 (香川県中小企業家同友会 副代表理事)
小林 秀弥 ((独) 国際協力機構四国センター (JICA四国) 所長)

委員

谷川 徹 (四国生物多様性ネットワーク事務局)
笠井 蒼子 ((株) r e クラレット代表取締役、 (特非) 徳島の働く女性を元気にする会理事長)
徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課長
香川県環境森林部環境政策課長
愛媛県県民環境部環境局環境政策課長
高知県林業振興・環境部環境計画推進課長

事務局

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所
四国環境パートナーシップオフィス

会員（2022/1/28時点）

団体会員 **68** 団体 個人会員 **3**名（2022年1月21日現在）

※団体会員内訳

- 企業・金融機関・その他関連団体：36
- 市民団体・NGO・NPO・その他団体：20
- 自治体・政府関係機関・公益法人等：9
- 大学・研究機関・教育関連機関：3

アドバイザー（2022/1/28時点）

村上周三氏、法政大学川久保俊氏、NRI森沢伊智郎氏

協力（2022/1/28時点）

金融庁環境省連携チーム

協力機関 (2022/1/25時点)

消費者庁
新未来創造戦略本部

四国財務局

農林水産省
中国四国農政局

林野庁
四国森林管理局



経済産業省
四国経済産業局

国土交通省
四国地方整備局

四国運輸局



徳島大学
TOKUSHIMA UNIVERSITY



国立大学法人
鳴門教育大学



香川大学



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY



高知大学
Kochi University



DBJ 日本政策投資銀行
Development Bank of Japan



日本政策金融公庫

取組内容

◆ 地域課題解決に向けた支援

- ① 地域課題解決の深掘り、マッチング支援
- ② 協力団体・企業の先進事例紹介

◆ 情報収集・発信・共有

- ① フォーラム・勉強会・交流会等の開催
- ② HPでの発信、メルマガ・SNSの活用、表彰制度

◆ ローカルSDGsの視点をもった創り手の育成

- ① 分科会活動支援、研修、講演

◆四国ESDチーム

事務局：四国ESDセンター

- 教育を基軸とした取組内容の検討
- ESD拠点ネットワークとの協働

ESD for 2030
SDGs達成に向けて活動を展開!



◆多文化共生型の減災社会づくり

事務局：NPO法人えひめグローバルネットワーク

- 平時からの自助・共助推進ネットワークづくり
- 在住外国人向け防災・減災教育教材づくり
 - ・四国内外の減災や多文化共生の方法を学ぶ
 - ・在住外国人を含む災害弱者支援や地域の防災・減災能力の向上を目指した教材づくり
 - ・四国内関係主体との連携による多文化共生・減災支援ネットワーク（SVOAD）づくり

◆地域エネルギー

事務局：愛媛県香川県

中小企業家同友会環境経営委員会

- 四国の資源を活用した再エネの導入
- 健康で心豊かな暮らしの実現の事業化

【取組内容一例（予定）】

- ・四国内の再エネ事例の調査。
- ・内子バイオマス発電所、高知での小水力発電、各地での営農型発電等を四国内に水平展開する。
- ・分科会メンバー及び一般市民向け再エネ学習会の実施。
- ・太陽光、小水力、バイオマス、バイオガス等、事業化に向けての発電方法の検討。
- ・検討を踏まえた再生可能エネルギーの事業化。
- ・地域電力会社の設立
(合同会社青い国REが始動)



令和3年度に実施したイベント



- **ESG金融/SDGsビジネスセミナー in 四国 (5/28) 主催**
参加者数：約**120**名（企業、金融機関など）
- **第1回 持続可能な高知の森林活用ダイアログ (6/18) 協力**
参加者数：約**50**名（地域金融機関、NPO等団体、ハウスメーカーなど） マッチング：**3**件
- **SDGs未来都市選定自治体から学ぶ！SDGsの視点を取り入れまちづくり (7/7) 主催**
参加者数：約**40**名（自治体、金融機関、NPO等団体など） マッチング：**3**件
- **四国の森林活用ダイアログ (DAY 1) ～地域金融とのベストミックスによる森林業×〇〇の新たな展開に向けて～ (11/25) 主催**
参加者数：約**70**名（製材所、住宅メーカー、金融機関、IT企業など） マッチング：**8**件
- **四国の森林活用ダイアログ (DAY2) ～森林業とのベストミックスによる地方創生及び地域脱炭素社会の実現に向けて～ (12/22) 主催**
参加者数：約**80**名（自治体、製材所、住宅メーカー、金融機関、IT企業など） マッチング：**8**件
- **第1回ローカルSDGs四国表彰式&フォーラム (2/12) 主催**

——イベント概要——

<https://ls459.net/?p=1799>

日時：令和3年12月22日（水） 15:00～17:15

会場：Zoomによるオンライン開催

概要：森林業の先進事例の紹介、マッチング（意見交換会）

目的：金融機関や企業など多様な関係者に話題提供をいただき、参加者間の意見交換を通じて、四国内自治体や多様な主体から見た持続可能な森林とその生業に関わる諸課題を把握・共有し、今後の展開につなげることを目的。

対象：森林活用×地方創生・脱炭素化に関心ある自治体や企業の方、四国の森林課題について一緒に考えたい方、森林に携わる企業、団体、個人の方、事業者を支える地域金融機関の方

プログラム：

- ・開催挨拶（環境省中国四国地方環境事務所）
- ・趣旨説明（ローカルSDGs四国（LS四国）事務局）
- ・登壇者講演

①株式会社 飛驒の森でクマは踊る 松本剛 氏 「テーマ：地域の森と木と人を活かす場の作り方」

②株式会社サイプレス・スナダヤ 砂田雄太郎 氏 「テーマ：木材活用とCLT」

③すみれ地域信託株式会社 井上博成 氏 「テーマ：森林の川上～川下におけるグループでの取組み～信託に焦点をあてて～」

- ・課題/情報提供者と参加者による意見交換

①大月町備長炭生産組合 中田徹 氏

②NPO法人由良野の森 鷲野宏 氏

③合同会社すぎとやま 杉山久実 氏

- ・ブレイクアウトルーム（2回、登壇者との意見交換会、課題/情報提供者との意見交換会）

主催：LS四国事務局（環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、四国環境パートナーシップオフィス（四国EPO））

協力：四国財務局

後援：金融庁、四国地方ESD活動支援センター

四国の森林活用ダイアログ (DAY2)
～森林業とのベストミックスによる地方創生及び地域脱炭素社会の実現に向けて～

2021 12.22(水) 15:00～17:15 参加無料 Zoom開催

ローカルSDGs四国とは
多様な自治体や企業など多様な関係者に話題提供をいただき、参加者間の意見交換を通じて、四国内自治体や多様な主体から見た持続可能な森林とその生業に関わる諸課題を把握・共有し、今後の展開につなげることを目的として本ダイアログ(DAY2)を開催します。

【対 象】
● 森林活用×地方創生・脱炭素化に関心ある自治体や企業の方
● 四国の森林活用について一緒に考えたい方
● 森林に携わる企業、団体、個人の方
● 事業者を支える地域金融機関の方

地域の森と木と人を活かす場の作り方
株式会社 飛驒の森でクマは踊る
松本 剛 氏
https://hidakuma.com/

木材利用とCLT
株式会社 サイプレス・スナダヤ
砂田 雄太郎 氏
https://www.sunadaya.co.jp/

森林の川上～川下におけるグループでの取組み～信託に焦点をあてて～
すみれ地域信託株式会社
井上 博成 氏
http://www.suniretrust.co.jp/

◆参加方法
QRコードからお申し込み下さい。
ローカルSDGs四国のホームページからお申し込み可能です。
https://ls459.net

主催：ローカルSDGs四国事務局（環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、四国環境パートナーシップオフィス）
協力：四国財務局
後援：金融庁、四国地方ESD活動支援センター（四国ESDセンター）（事務局）

◆プログラム

- ・開催挨拶（環境省中国四国地方環境事務所）
- ・趣旨説明（ローカルSDGs四国（LS四国）事務局）
- ・登壇者講演

登壇者講演1 15:10～ 地域の森と木と人を活かす場の作り方 株式会社 飛驒の森でクマは踊る 松本 剛 氏	登壇者講演2 15:30～ 木材利用とCLT 株式会社 サイプレス・スナダヤ 砂田 雄太郎 氏	登壇者講演3 15:40～ 森林の川上～川下におけるグループでの取組み～信託に焦点をあてて～ すみれ地域信託株式会社 井上 博成 氏
---	--	---

- ・ 登壇者と参加者による意見交換
- ・ 課題/情報提供者発表

課題提供者1 16:20～ 大月町 備長炭生産組合 中田 徹 氏 http://www.otsuki-binchotan.com/2.html	課題提供者2 16:23～ NPO法人 由良野の森 鷲野 宏 氏 https://yuranonomei.jp/	課題提供者3 16:26～ 合同会社 すぎとやま 杉山 久実 氏 https://sugitoyama.jp/
--	---	--

- ・ 課題/情報提供者と参加者による意見交換
- ・ 閉会

※このイベントは、金融庁と環境省との連携チームの協力で開催します。

ローカルSDGs四国（LS四国）とは
四国の地域課題を解決し、地域創生の成実を結ぶものとし、持続可能な地域づくりを促進していくために、「地域創生推進型ローカルSDGs」の理念に則した取組を推進するべく重要であると考え、この取組を推進するプラットフォームとして「ローカルSDGs四国（四国）」が立ち上げられました。
「LS四国」は、このような能力ある地域を四国各地でつなぐために、産官学財のあらゆる関係者が学び合い、支え合います。

雙方ある持続可能な四国を、私たちが一緒につなげていきたいと思いますか？

ローカルSDGs四国 参加のメリット
新規会員募集中！

1. SDGs経営等の支援
2. 情報収集・共有・発信
3. マッチング支援
4. 仲間づくり・ネットワークづくり

——イベント結果——

参加者数：**約 80名**

EX)自治体、製材所、住宅メーカー、金融機関、IT企業など

参加者アンケート（抜粋）：

【大変良い、良い】**87%**

- ・杉山氏のKEETOについて知れた。
- ・それぞれの課題が、具体的に垣間見えたため。
- ・森林の課題について知見が深められた
- ・今回参加しなければ知ることができなかった事業や取り組みを、たくさん知ることができたため。こんなに素晴らしい事業や取り組みが四国地方で行われていることを、もっと多くの方に知ってほしいと感じた。
- ・ヒダクマさんの取り組みに興味があった。広葉樹の使い方がとても良いと思った。
- ・課題の解決に役立つ、合理的なプラットフォームだと思う。今までにない。

【普通】10%

- ・本質的な問題点まで議論できなかったのが残念。

マッチング件数：

8件

ヒダクマ×NPO団体、ヒダクマ×保険会社、すぎとやま×保険会社など

当日の資料等はこちら：

<https://ls459.net/?p=1799>



会員等同士でのコミュニティづくり、情報収集・共有・発信するための オンラインプラットフォーム！！



■ できること

- ・ 一緒に取組を行う仲間作り
- ・ 多様なステークホルダーとの対話
- ・ 官公庁等へのお悩み相談
- ・ 自社の取組紹介、イベント広報
- ・ 官公庁の助成制度などの情報収集
- ・ SDGsやESG等に関する情報収集など

SNSの感覚で気軽にコミュニケーションできます！！

参加されたい方

まずはLS四国の入会登録をお願いいたします。

https://ls459.net/?page_id=51

上記リンク入会申込書に必要事項を記載の上、LS四国事務局info@ls459.netまでご提出ください。

ローカルSDGs四国の創り手人材育成プログラム研修



この研修は、**四国の地域資源を活用し、ローカルSDGsの視点をもって、課題解決の方策を探り、事業を創り出し共に動かす人材、ココロザシを共に共有し実現に向けて歩む仲間づくりをめざして実施。**

■事前ワークショップ（会場・オンライン）

日時：2021年12月23日（木）19:00～21:00@Setouchi-i-Base（香川県高松市）、オンライン（Zoom）

内容：講師に池嶋氏を迎え、企画立案に当たって大切な「鳥の目」を養うワークショップを実施。

■フィールドワーク（現地・オンライン）

香川：2022年1月8日（土）10:00～16:00、9日（日）10:40～15:30

もったいないロス：さぬき麺業、ちよだ製作所、セカンドハンド、さくらやを見学

愛媛：2022年1月15日（土）9:00～17:00、29日（土）10:00～12:00

再生可能エネルギー：小水力発電、バイオマス発電、太陽光発電・熱利用の現場を見学

ふりかえり会：2022年1月15日（土）18:00～20:00

■事業企画ワークショップ（オンライン）

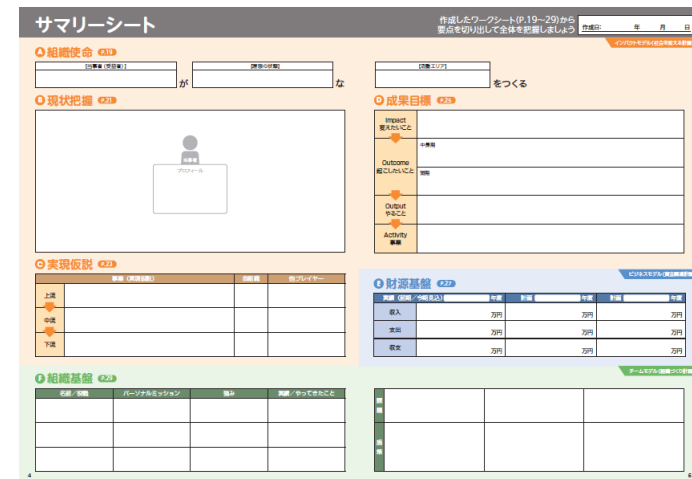
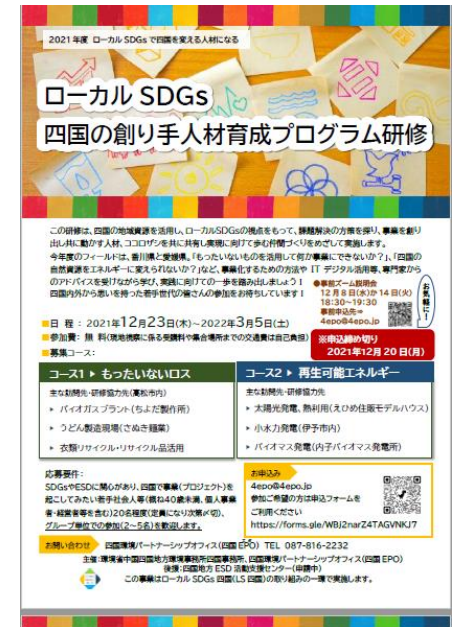
日時：2022年2月11日（金）13:00～16:15@オンライン（Zoom）

内容：日本公庫の岡本氏を迎え、事業企画のノウハウを取得し、実践

■成果発表会（オンライン）

日時：2022年2月23日（水）13:00～16:00（予定）@オンライン（Zoom）

内容：研修参加者から事業企画を発表、アイデア集め、仲間作り



ローカルSDGs四国の創り手人材育成プログラム研修成果発表会

日時：令和4年2月23日（水）13:00～16:00（～16:30）

会場：Zoomによるオンライン開催 Beyondミーティング 形式

研修参加者の思い・事業企画を応援しよう！仲間を作ろう！

サーキュラーエコノミー、観光、教育などの分野の思い事業企画の発表あり！

こんな方のご参加お待ちしております！

- ・研修参加者の思い・事業企画を応援したい、連携したい方
- ・何か挑戦してみたい！けどきっかけがない学生、社会人の方
- ・SDGs、CSV、ESG投資などを推進したい企業の方
- ・連携先を探している企業、行政、教育機関の方
- ・事業を支える金融機関の方

詳細はこちら

<https://4epo.jp/information/notice/24351.html>

申込みはこちら

<https://forms.gle/ZPAySQXaPUC5UY4E9>



LS四国は、最新の情報や、多様なステークホルダーとコラボするキッカケを提供します！！

1. SDGs経営等の支援

- LS四国等が主催する勉強会・交流会に参加できます。
- 様々な先進事例の紹介を受けられます。
- 人材育成のサポートを受けられます。
- アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。

2. 情報収集・共有・発信

- LS四国kintone等を通じて、自社の取組を四国内外に発信できます。
- LS四国kintone等を通じて、他の会員の取組などの情報をいち早く収集できます。

3. マッチング支援

- イベント参加や、コンサル会社等を通じて、自社の強み（シーズ）を地域課題解決（ニーズ）に活かすマッチングの支援を受けられます。
- アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。

4. 仲間づくり・ネットワークづくり

- イベント参加、LS四国kintone等を通じて、地域課題解決に向けた仲間づくりができます。
- テーマごとの分科会の活動を通じて、多様なステークホルダーと連携し、地域課題解決に貢献することができます。

5. 資金調達及び金融連携の支援

- 地域金融機関におけるESG金融の取組を促進・支援します。
- 国・自治体等の助成制度等について紹介・相談を受けられます。

6. 優良な取組の表彰

- 表彰制度により、優良な取組を強力に発信することができます。

会員になりたい！
もしくは
先行の各分科会に協働して取り組みたい！
分科会を立ち上げたい！
という主体（団体）様を募集します



●ローカルSDGs四国ホームページ

<https://ls459.net/>

【問い合わせ先】

- 環境省中国四国地方環境事務所四国事務所環境対策課
TEL: 087-811-7240、Eメール: info@ls459.net
- 四国環境パートナーシップオフィス（四国EPO）
TEL: 087-816-2232、Eメール: info@ls459.net

ローカルSDGs四国にご参加を希望される方は、下記のフォーマットをダウンロードしてください。必要事項をご記入いただき、フォーマットに記載している提出先まで、ご提出ください。
各書類を受理した後、規定の手続きを経て、ご入会や分科会登録の決定をお知らせします。

入会申込書

ローカルSDGs四国へ入会を希望される方は、こちらのフォーマットをご利用ください。

[【Excel】LS四国入会申込書](#) [ダウンロード](#)

[【PDF】LS四国入会申込書](#) [ダウンロード](#)

